

完成したイルミネーションボックスを点灯させる児童＝浜松市西区の庄内協働センター

LED点灯 きれい！

児童がイルミネーション作り

静岡大工学部、情報学部(浜松市中区)の理科工作サークル「キッズサイエンスカフェ」の学生が9日、西区庄内町の庄内協働センターで地域の小学生に理科の楽しさを伝える講座を開き、村楡小と庄内小の児童19人が参加した。

静岡大理科サークル講座 西区



学生が講師を務め、児童は発光ダイオード(LED)と光ファイバーを使ったイルミネーションボックスを製作した。最後に一斉に点灯させると、暗い部屋が色とりどりのLEDで照らされ、児童は興味深く見入った。庄内小の小出誠人君(8)と雄土君(6)は「光がとてもきれい。家に帰って父と母に見せたい」と話した。

講座は市と大学の連携事業で、学生が企画立案した。同サークル代表の中瀬世士さん(19)は「1～6年までの児童と一緒に楽しみなから理科への興味をもってもらえるようなアイデアをこれから

考えていきたい」と話した。
(浜松総局・二神亨)

静大生有志が児童向け講座

科学の魅力工作で伝授



学生の手を借りながら「イルミネーションボックス」を完成させた児童。浜松市天竜区佐久間町の佐久間小

天竜区・佐久間

浜松市と静岡大は22日、同市天竜区佐久間町で学生による科学・工作講座を開いた。学生有志が講師となり、地元小学生に光ファイバーを使った「イルミネーションボックス」の作り方を教え、科学の魅力を伝えた。

イルミボックス制作

子ども向けの科学講座を企画・開催する学生サークル「Kids Science C

afé」の部員9人が、大輝君(7)は「早く夜浦川、佐久間地区を訪ねてみたい」と笑顔を

見せた。サークル代表の中瀬世士さん(19)は「どうしてこうなっているのか、という驚きから科学への関心につながれば」と話した。(天竜支局・垣内健吾)